

麻シンポジウム

～ 産業用大麻の可能性を探る～

日 時:平成27年 3月26日(木)
会 場:北見市民会館 小ホール
主 催:産業クラスター研究会オホーツク
共 催:(公財)はまなす財団、北見市

産業クラスター研究会オホーツク麻プロジェクトは、平成15年の設立以降、産業用大麻の事業化に向け、麻の試験栽培をはじめ、国内外の視察や試作品の開発、並びに麻の有用性についての啓蒙活動等に取組んでいる。

当プロジェクトでは、はまなす財団からの支援も頂き、麻の有用性や事業化について、及び麻から作られるさまざまな商品を広く知って頂き、麻についての理解を深めて頂く事を目的に麻シンポジウムを開催した。

現在東川町で進められている産業用大麻の試験栽培の結果報告、日本で流通している産業用大麻の最大の生産地である、栃木県の麻農家の現状と事例紹介に加え、300点以上の麻を原料とした食品・衣類の展示並びに販売を通して、約25,000種以上の工業製品が製造可能といわれている産業用大麻がいかに有用な素材であり、事業化の可能性を持っているかということ、参加者の方々に理解と知識を深めてもらうことができた。

講演1

「産業用大麻の事業化に向けて」

一般社団法人 北海道産業用大麻協会 代表理事

菊地 治己 氏

講演2

「産業用大麻の栽培と事業の現状について」

日本麻振興会 理事長(栃木県鹿沼市在住)

大森 由久氏

シンポジウム(写真)



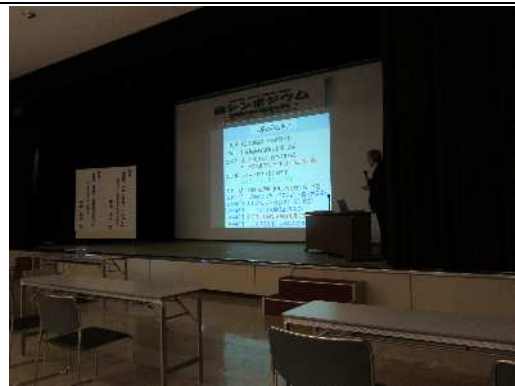
シンポジウムの様子



主催者挨拶



講演1:菊地代表理事



講演1:菊地代表理事



講演2:大森理事長



講演2:大森理事長



ヘンブマルシェ開催の様子



ヘンブマルシェ開催の様子